

東部地区

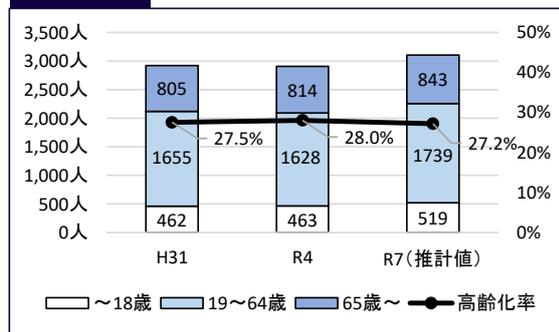
◆概要

	【位置図】	まち協名	東部地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市阿野田町3497	電話	0595-83-3119
		地区構成	管内町 阿野田町 北鹿島町 南鹿島町		
		地域特性	亀山市の南東に位置し、北鹿島町、南鹿島町、阿野田町、管内町の4町で構成され中央を鈴鹿川が流れています。北鹿島町・南鹿島町は、県道28号と関西本線、鈴鹿川に挟まれており、鈴鹿川以南には、阿野田町が広範囲に位置し、二本松団地を中核にした二本松地区、更に東には、管内町と樺野、中野地区が配置する形態で構成しています。住宅と農地が多く、工場・トラックステーション等が点在しています。		
面積	410.5ha	ホームページ	http://www.tobumachikyo.wordpress.com/		
めざす姿	我がまちが居心地よく楽しい生活を維持し、将来に渡って豊かさを享受できるまち				
地域の誇り	長い歴史の中で大切に引き継がれてきた郷土芸能と文化				

◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	2,922人	2,905人	3,101人	-17人	
人口密度	7.12人/ha	7.08人/ha	7.55人/ha	-0.04人/ha	
65歳以上	人口	805人	814人	843人	9人
	比率	27.5%	28.0%	27.2%	0.5%
18歳以下	人口	462人	463人	519人	1人
	比率	15.8%	15.9%	16.7%	0.1%
外国籍	人口	165人	150人	-	-15人
	比率	5.6%	5.2%	-	-0.5%

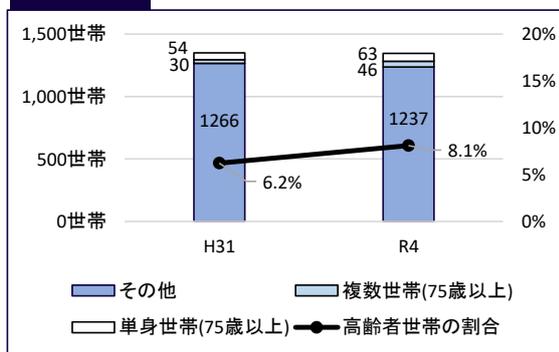
◆人口推移



◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	1,350世帯	1,346世帯	-4世帯
単身世帯 (75歳以上)	54世帯	63世帯	9世帯
複数世帯 (75歳以上)	30世帯	46世帯	16世帯
高齢者世帯割合	6.2%	8.1%	1.9%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	49人	57人	8人
要介護1～5	113人	91人	-22人
合計	162人	148人	-14人

◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	14	14	0
老人クラブ	1	1	0
子ども会	1	0	-1

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
福祉委員	30
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	1
病院・診療所	1
歯科	1
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	19

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあい・いきいきサロン	3	3	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	0	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 民生委員・児童委員 福祉委員 老人会長

◆活動内容

【交流活動】

老人球技大会や三世代交流事業を行い、子どもから高齢者のふれあい活動を行っています。

【訪問活動】

75歳以上の高齢者見守り活動を随時行っています。



文化演芸大会



老人球技大会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・青壮年マラソンソフトボール大会
- ・工作
- ・中学生ボーリング大会
- ・交通安全・防災講座
- ・敬老会
- ・文化演芸大会
- ・老人球技大会
- ・環境講座
- ・干支づくり

◆生活支援コーディネーターからのコメント

東部地区の人口は2,905人で、そのうち28.0%にあたる814人が65歳以上です。地域内1,346世帯のうち、8.0%にあたる108世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の5.2%にあたる150人が外国籍です。
 地域の特色として、市外からの移動販売やフランチャイズによる配達、近年は大型スーパーの立地もあり、比較的買い物をするのに便利な環境です。さらに、大型スーパーまでの歩道の整備が進んでおり、よりアクセスしやすい環境が整ってきています。地区内には自治会長が中心となり、子どもと一緒に75歳以上の高齢者宅への見守り訪問を行う等、福祉に関して熱心に取り組んでいただいている地区があります。また、まち協を構成する部会には女性部があり、女性が中心となり親睦と交流を深める行事も企画されており、中でも花の寄せ植え配布「花いっぱい運動」は、まち協の目玉イベントで大変好評だったそうです。乗り合いタクシーなどは比較的利用しやすい状況であることから、7つの自治会を中心に地域の一体感の醸成を図りながらちょっとした困りごと(ごみ出し、草刈りなど)に住民同士で対応する支えあい・助け合いの体制づくりの検討が高まっていくことが期待されます。